

佛教学セミナー

総目次

(第一号・昭和四十年五月より
第十四号・昭和四十六年十月まで)

弥勒と阿逸多

桜部 建

梁代二諦思想の特質

福島 光哉

——僧肇の二諦説との関連について——

大乗佛教について

山口 益

——その精神史観への一試攷——

天台法界観の系譜

安藤 俊雄

鎌倉末——南北朝の唯識宗

富貴原章信

『往生要集』の思想的意義

坂東 性純

煩惱障所知障と人法二無我

舟橋 尚哉

中国佛教への道しるべ

横超 慧日

ウーインインド学研究所の近況

雲井 昭善

インド・ビハール州立四研究所の現状(一)

——ナーランダ・パリー研究所——
長崎 法潤

第二号 (昭和四十年十月)

佛教における有形なるものと無形なるもの(上)——佛教学と真宗学との接点——

舟橋 一哉

祭祀とブッダの主張

雲井 昭善

弥勒と阿逸多

桜部 建

梁代二諦思想の特質

福島 光哉

——僧肇の二諦説との関連について——

大乗佛教について

山口 益

——その精神史観への一試攷——

天台法界観の系譜

安藤 俊雄

鎌倉末——南北朝の唯識宗

富貴原章信

『往生要集』の思想的意義

坂東 性純

煩惱障所知障と人法二無我

舟橋 尚哉

中国佛教への道しるべ

横超 慧日

ウーインインド学研究所の近況

雲井 昭善

インド・ビハール州立四研究所の現状(一)

——ナーランダ・パリー研究所——
長崎 法潤

第二号 (昭和四十年十月)

佛教における有形なるものと無形なるもの(上)——佛教学と真宗学との接点——

舟橋 一哉

祭祀とブッダの主張

雲井 昭善

第三号 (昭和四十一年五月)

佛教における有形なるものと無形なるもの(下)——佛教学と真宗学との接点——

舟橋 一哉

律蔵にあらわれたる佛伝の宗教性について

佐々木教悟

佛教の現実的性格

安井 広済

——無常・無我・空の思想の意味するところ——

大乘における相即の論理の内景

鍵主 良敬

——煩惱即菩提の思想について——

中国佛教への道しるべ(3)

横超 慧日

インド・ビハール州立四研究所の現状(二)

——ミティラ研究所、ジャヤスワール

研究所、ヴァイチャリ研究所——

長崎 法潤

ルイ・ド・ラ・ヴァレール・ブーサン教授

についての略述

E・ラモネート
大谷大学佛教学研究室

第四号 (昭和四十一年十月)

華嚴経における寂滅道場と祇園精舎

——法蔵の解釈を主として——

山田 亮賢

チベット中世初期における般若中観論書の

訳出(上) 稲葉 正就

所引の経論を中心にした中観宝燈論の考

察(二諦章) 荷葉 堅正

竺道生の般若思想 三桐 慈海

涅槃経中の本有今無偈について

——佛性・涅槃の常住といわれる意味——

張 曼濤

第二回エドワード・F・ギャラヒュー

世界宗教会議に参加して

坂東 性純

第五号 (昭和四十二年五月)

四十余年未頭真実の意義 横超 慧日
チベット中世初期における般若中観論書の
訳出 (下) 稲葉 正就

智慧から慈悲への動向

小川 一乘

——如来藏(佛性)思想の本意——

* * * * *

インド佛教への道しるべ(1) 舟橋 一哉

——原始佛教——

欧米でみた日本人留学生 佐々木現順

* * * * *

佛教学の方法論についての覚え書

上田 義文

第六号 (昭和四十二年十月)

宗教と民族性(上) 佐々木現順

光胤の唯識思想 富貴原章信

華嚴における佛の光明について(上)

鍵主 良敬

* * * * *

インド佛教への道しるべ(2) 舟橋 一哉

——アビダルマ佛教——

国際東洋学者会議に出席して

桜部 建

チベット佛典について

山口 益

第七号 (昭和四十三年五月)

佛教学研究について

水野 弘元

宗教と民族性(下)

佐々木現順

華嚴における佛の光明について(下)

鍵主 良敬

南条文雄先生

雲井 昭善

フランス佛教学・日本学についての雑感

白土 わか

インド佛教への道しるべ(3)

安井 広済

第八号 (昭和四十三年十月)

恵心僧都と四明知礼(上)

安藤 俊雄

——趙宋期における日中天台の交流——

根本説一切有部における帰依三宝につい

て 佐々木教悟

源信の教・観の性格について

——『観心略要集』を中心として——

坂東 性純

撰大乘論における声聞乘のアーラヤの異

門 片野 道雄

常盤大定先生

横超 慧日

——中国佛教学史研究の大成者——

佛教における体系と創造 玉城康四郎

* * * * *

第九号 (昭和四十四年五月)

懺悔について

山口 益

恵心僧都と四明知礼(下)

安藤 俊雄

——趙宋期における日中天台の交流——

狂言綺語について 白土 わか

ドクトル渡辺海旭

桜部 建

——真に学を愛した「現代的佛者」——

インド佛教史への道しるべ 佐々木教悟

ワシントン大学のインド学 一郷 正道

「肇論研究」に見えたる慧達序の読み方
に対する私見 神田喜一郎

第十号 (昭和四十四年十月)

真空妙有 舟橋 一哉

——佛教学と真宗学との接点——

ブラマリーナ・ヴールティカ為自比量章の
順位 長崎 法潤
古田 和弘

僧叡の研究(上) *

* 富貴原章信

佐伯定胤老師

——法隆寺の故和上を偲んで——

* 安井 広済

インド佛教への道しるべ(4) 安井 広済

——唯識佛教——

第十一号 (昭和四十五年五月)

浄土について 山口 益

A・J・トインビーの佛教観

桜部 建

十随念の成立過程

吉元 信行

僧叡の研究(下) *

* 古田 和弘

インド佛教への道しるべ(5) 佐々木教悟

——戒律佛教——

* * *
ホンコン・タイワン佛教への望蜀の言
佐々木現順

旅行記——現代世界の佛教に寄せる関心——
坂東 性純

* * *
過去佛思想について 宮坂 宥勝

* * *
第十二号 (昭和四十五年十月)

釈尊における対機説法 舟橋 一哉

——一人と一人との対話——

鍵主 良敬

有漏の分別智について

——華嚴学への一試論——

慧均撰四論文義八不義について(1)

——大乘玄論八不義との比較対照——
三桐 慈海

菩提心について 平野 修

——初歡喜地の問題——

* * *
原始佛教研究の道しるべ(1) 佐々木現順

モンゴル・ソ連の佛教事情 坂東 性純

第十三号 (昭和四十六年五月)

劉宋慧観の法華経観 横超 慧日

実相の世界 安井 広済

——龍樹における空の論理の考察——

念佛の象徴性 坂東 性純

八識思想の成立について 舟橋 尚哉

——楞伽経の成立年時をめぐって——

佛教にみられる Dhakka の影響 渡辺 顕信

* * *
原始佛教研究の道しるべ(2) 佐々木現順

* * *
第十四号 (昭和四十六年十月)

人間の存在の構造(1) 佐々木現順

——生と死——

「Papers of Th. Stecherbatsky」を一読
して 荷葉 堅正

唯識二十論における artha について

大崎 昭子

楞伽宗考 八木 信佳

* * *
赤沼智善先生 舟橋 一哉

——堅実なる学風の人——

ベルンハルト博士の客死を悼む 佐々木現順

* * *
日本民族性と佛教の発展(1) 鈴木 大拙

* * *
* 書評などの短文は省略した。